



東京都高等学校数学教育研究会
 事務局 都立田園調布高等学校
 事務局長 吉 田 亘
 発行所 都立昭和高等学校内
 編集発行人 萩 原 聡
 都数研HP <http://tosuiken.jp/>

平成 26 年度総会

平成 26 年度の総会が、去る 5 月 24 日(土)13:30 から、都立青山高等学校の 5 階ホールにて開催された。

開式の辞・会長あいさつに始まり、議事の流れは下記の通りであった。

- 1 平成 25 年度事業報告
- 2 平成 25 年度決算および監査報告
- 3 平成 26 年度 役員選出(顧問参与の承認を含む)
平成 26 年度 会長あいさつ
- 4 平成 26 年度事業計画
- 5 平成 26 年度予算
- 6 平成 26 年度役員・理事

議事は全て承認された。主な役員は以下のとおり。

会 長 下條 隆史(立川高・校長)
 副 会 長 吉田 亘(田園調布高・校長)
 北原都美子(明星中高・校長)
 事務局 長 吉田 亘(田園調布高・校長)
 研究部 長 真保 俊哉(神代高・校長)
 研究副部長 柴田 誠(大泉中高・校長)
 梅原 章司(清瀬高・校長)

定 通 部 長 川澄 秀一(第三商高・定副校長)
 編 集 部 長 萩原 聡(昭和 high・校長)
 編集副部長 加藤 竜吾(東村山高・副校長)
 水本 香(翔陽高・副校長)
 監 査 坂本 憲二(駒場高・校長)
 宮下 義弘(大泉桜高・校長)

カリキュラム特別委員会
 委 員 長 竹村 恭一(板橋有徳高・校長)
 連携研修特別委員会
 委 員 長 宮下 義弘(大泉桜高・校長)

上記の総会終了後には 14:00 から定通分科会と大学入試分科会による分科会発表を行った。

最後に、教育庁指導部高等学校教育指導課 小泉博紀指導主事から『東京都では、英語教育だけでなく、理数教育に力を入れている。学力スタンダード(学び直し)等において他教科を先導すると期待している。都数研を通して情報発信をしていただきたい』と講評をいただいた。

文責 編集部 林 恵美子(三鷹高)

ごあいさつ

会長 下條隆史(立川高・校長)



会長として、2 年目となりました。この 1 年間、会員皆様の様々なご支援とご協力、誠にありがとうございました。

現在、都数研の会員は、国立・私立・都立の高校の先生方が中心ですが、中学校の先生、大学関係者、教科書並び企業関係者の方も合わせると 150 名を超えています。

思いおこせば数年前、会員数が少なかった頃からすると、都数研の活動に元気が復活してきた感があります。これも、会員皆様の努力の賜物だと感謝しています。

また、ウェブページがリニューアルし、掲載されている情報も格段に充実してきました。5 つの分科会での様々な研究に関する情報発信も増加してきています。特に、会員専用のページには、研究集録も掲載され、研究部、各分科会で行う案内なども充実してきました。

今年度の総会では、予算案が承認されましたが、昨年度と異なる点は主に、以下の 3 点です。

①研究活動費増額

各分科会の活動費を増額いたしました。各分科会および編集部に 3 万円(昨年度 1 万円)といたしました。

②大会参加援助費増額

全国算数・数学教育研究大会や関東都県算数・数学教育研究大会などの参加にあたり、都数研からこれらの大会の発表、司会や助言者などを依頼しています。これらの参加者に 1 万円(昨年度参加費用のみ)を支給することにいたしました。

③70 周年式典事業基金(新規)

平成 28 年には都数研は 70 周年を迎えます。式典準備金及び式典費用として、20 万円を基金といたしました。

さて、日数教の 100 周年事業が平成 30 年に東京で開催することになっています。4 年後のことですが、都数研も主催団体として関わることになりました。会員の皆様のご協力が必要となりますので、よろしく願いいたします。